

こちらは本文の見本です。
内容を一部公開しています。

なお、各キャラクターの
ページ番号は
本誌にのみ掲載しています。

目次

- 草加 怜
- 草加 葵
- 如月 琳
- 後藤 鋼樹
- 柊 杠葉
- 草加 翡翠
- 木元 桜
- 赤月 カナタ
- 境 悠真
- 草加 あめ
- スケッチ集
- あとがたり／奥付

草加 怜

Rei Kusaka

「ようこそ、草加診療所へ。今日はどうなさいましたか？」
「私は医者として、自分にできることをやるだけですから」

- *性別 男性
- *職業 医者
- *年齢 35歳
- *身長 170cm
- *誕生日 8月19日
- *血液型 O型
- *一人称 私/俺
- *利き手 右手
- *好きなこと
人の喜ぶ顔をみること
- *嫌いなこと
人を疑うこと、詐欺
- *趣味・特技
日帰り旅行、写真撮影
- *将来の夢
翡翠さんと幸せに暮らすこと



技能

STR12 CON9 POW14 DEX13 APP9 SIZ11 INT13 EDU14 HP10 MP14 DB0
運転（一般車）30 製作（料理）6 回避52 こぶし（パンチ）51 信用65 説得50
英語43 聞き耳51 写真術23 精神分析57 図書館64 目星63 医学94 オカルト33
クトゥルフ神話40 コンピューター31 生物学40 天文学4 薬学50

人柄

三人兄弟の次男として真面目な兄（草加隼人）と自由奔放な弟（草加葵）を見て成長した怜は、どちらの性格も良しとし、また誰にでも誠実に接することを良しとした。誰に対しても偏見の目を持たず、初対面の人でも信じようとする筋金入りのお人好し。ただ、そんなお人好しの考えが「困っている人は誰でも同じ人だから」という指針になり、誰に対しても手を差し伸べられる職業として医者を目指す動機になっている。ただし、人の好意には鈍感である。

経歴

怜は某国立大学医学部に進学し、卒業後は東京都にある中規模の病院に新米医師として就任。どんな患者に対しても真摯に向き合い、知識を付けるために勉学に励んだ。その努力が実り、数年後には院長から将来を有望視されるほどに成長した。

ところが、ある日「出張先の院長に届けるように」と副院長に指示されて怜が準備した資料の中に、患者の個人情報に記載されたカルテが入っていた。もちろん、責任の所在は怜に向けられた。資料を準備したのは怜だが、怜の目を盗んでカルテを混ぜたのは、院長に気に入られている怜を疎ましく思った副院長だった。

真実に気づいた院長が副院長を罰したものの、実行犯となった怜はその一件が原因で病院内に居られなくなる。その件については「仕方がないことだったと思います」と諦められたが、自分が医者としてできることは諦めきれなかった。

そこで怜は、院長の支援を受けて東京都の隅で「草加診療所」という診療所を開業する。最初は経営が苦しかったが、地域に根ざした医療を目指して丁寧に対応していくうちに、人当たりのよさが地域の人達に認められ、慕われるようになっていった。

そして、ある日の休日。海外旅行の帰りに出逢った少女を基点に、さまざまな人達との縁が結ばれるようになる。それが後に、とある少女との恋に発展するなど誰が予想しただろうか。

柊 杠葉

Yuzuriha Hiiragi

「私に関わるくらいなら、別のことに時間を使ったらどう？」

- *性別 女性
- *職業 大学院生
- *年齢 24歳
- *身長 160cm
- *誕生日 5月12日
- *血液型 A型
- *一人称 私
- *利き手 右手
- *好きなこと
静寂な空間、読書
- *嫌いなこと
偏見、嘘を吐くこと
- *趣味・特技
速読、弓道、人捜し
- *将来の夢
子どもに関わる仕事に就くこと



人柄

淡々とした口調、抑揚のない声色が特徴。他人との関わりは最小限に留めており、何も知らない人からは深窓の令嬢のようにも見える。しかし、実際には内面の起伏が激しく、箍が外れたら直情的になってしまう。本人としては、そうした自分の一面をどうやって表に出せばいいのか困惑しているが、それを理解している知人や友人達とは問題なく交流している。

経 歴

実家を出て一人暮らしをしている大学院生。妹が一人いたが、とある事件に巻き込まれて命を落としている。幼少期、可愛らしい風貌を周囲から疎まれたことでいじめられてから、他人の嘘や誹謗中傷に嫌気が差し、周囲との関わりを避けて読書や弓道に傾倒するようになった。

高校性の時、弓道の試合で負った怪我を診てくれた草加怜に惚れてしまう。彼が病院を辞めたことを聞いてからは彼の行方を必死に捜し求め、「自分の診療所を開いた」という情報を入手してからその近所で一人暮らしを始めた。

その後、勇気を持って彼に告白するも丁重に断られてしまうが、今は気持ちを切り替えており、彼氏にも恵まれた。また、過去に巻き込まれたとある神話的事象がきっかけで、子どもに関わる仕事に就きたいと思うようになり、将来に向けて勉学に励んでいる。

由 来

当時、草加怜を中心に探索者同士の関係性を広げようと考えていた際に思いついたのが彼女だった。当時、女性探索者の名前には「樹木もしくは花の名前を入れる」という縛りを設けようと考えていたので「柊」「杠葉（譲り葉）」という二つの樹木の名前を採用したものの、花言葉は確認せずに付けてしまった。ただし「譲る」という言葉を入れた時点で怜と結ばせる気はなかった。現実は残酷である。語呂自体はとても気に入っている。

因 縁

- 琴乃葉奏「大学の友達。本が好きな子だから、よく図書館で会って話をするの」
- 鼠家 蕾「私の大事な友人。いつも明るくて元気なところが素敵だと思うな」
- 奥村燐太郎「例の件では随分と迷惑かけたと思う。互いに忘れたい過去だろうけど」
- 橘 千里「私の彼氏にあたる人。気配りが上手で、嘘を吐くのが苦手なの」

猫からのコメント

猫の女性探索者の中でも随一の不憫枠。シナリオに連れていく度に酷い目にしか遭わせなくてごめんね。特に、妹さんの件（重大なトラウマを植えつけた）と某短編（草加診療所に向けて矢を放った）については申し開きができません。短編については籬を外しすぎました。技能値を低めに設定したせいでなかなかシナリオに連れていけないけれど結構気に入っています。